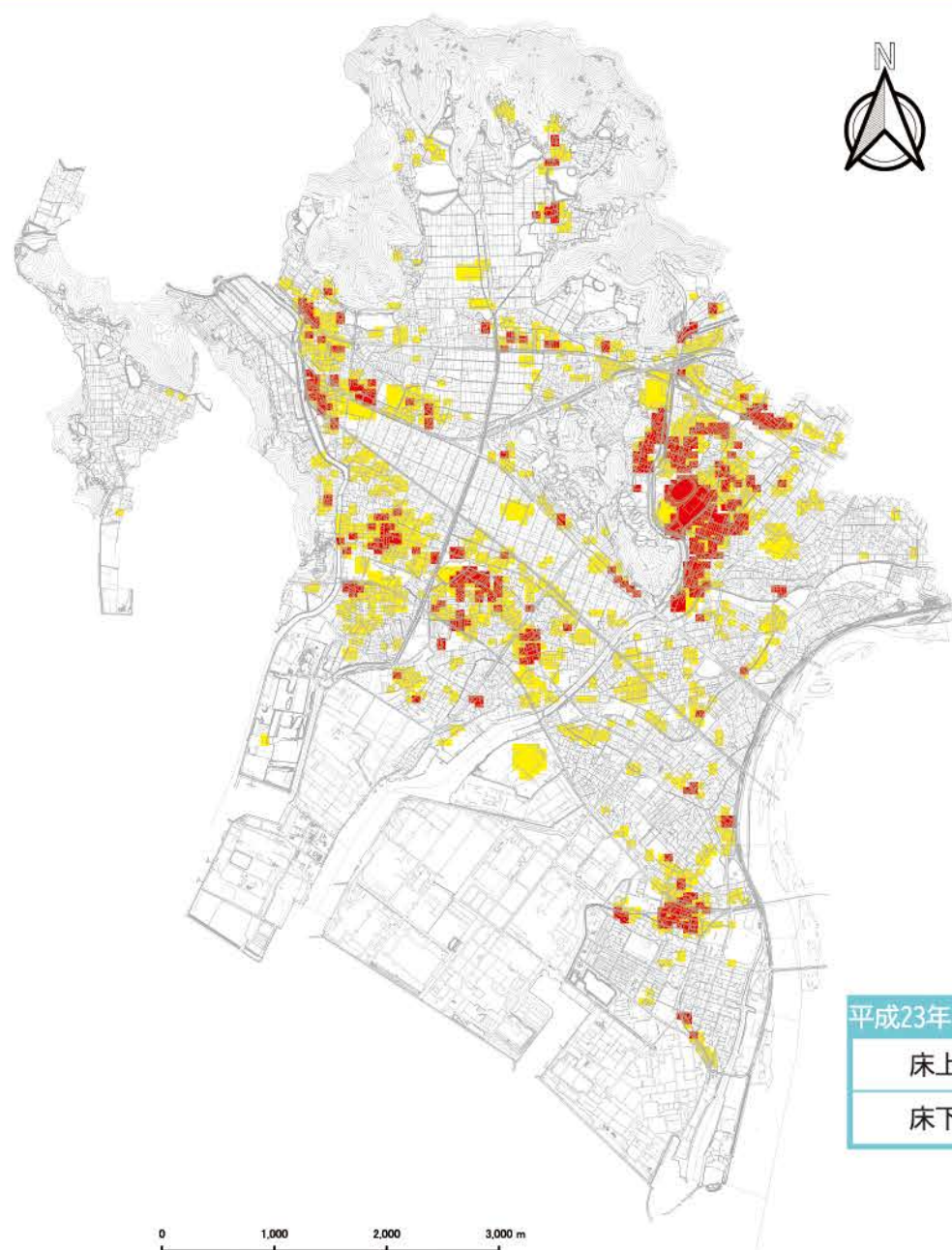




平成23年台風第12号浸水実績

床上浸水



床下浸水



●高砂市における台風第12号(平成23年9月)の概要

◆最高降雨量

累加雨量	1 時間降雨量
335.0mm 【沖浜ポンプ場】	87.5mm (4日1時~2時) 【荒井ポンプ場】

◆4日の潮位

1時40分	満潮：114.4cm
8時32分	干潮：20.3cm

◆被害の状況

(平成23年12月14日時点の認知数)

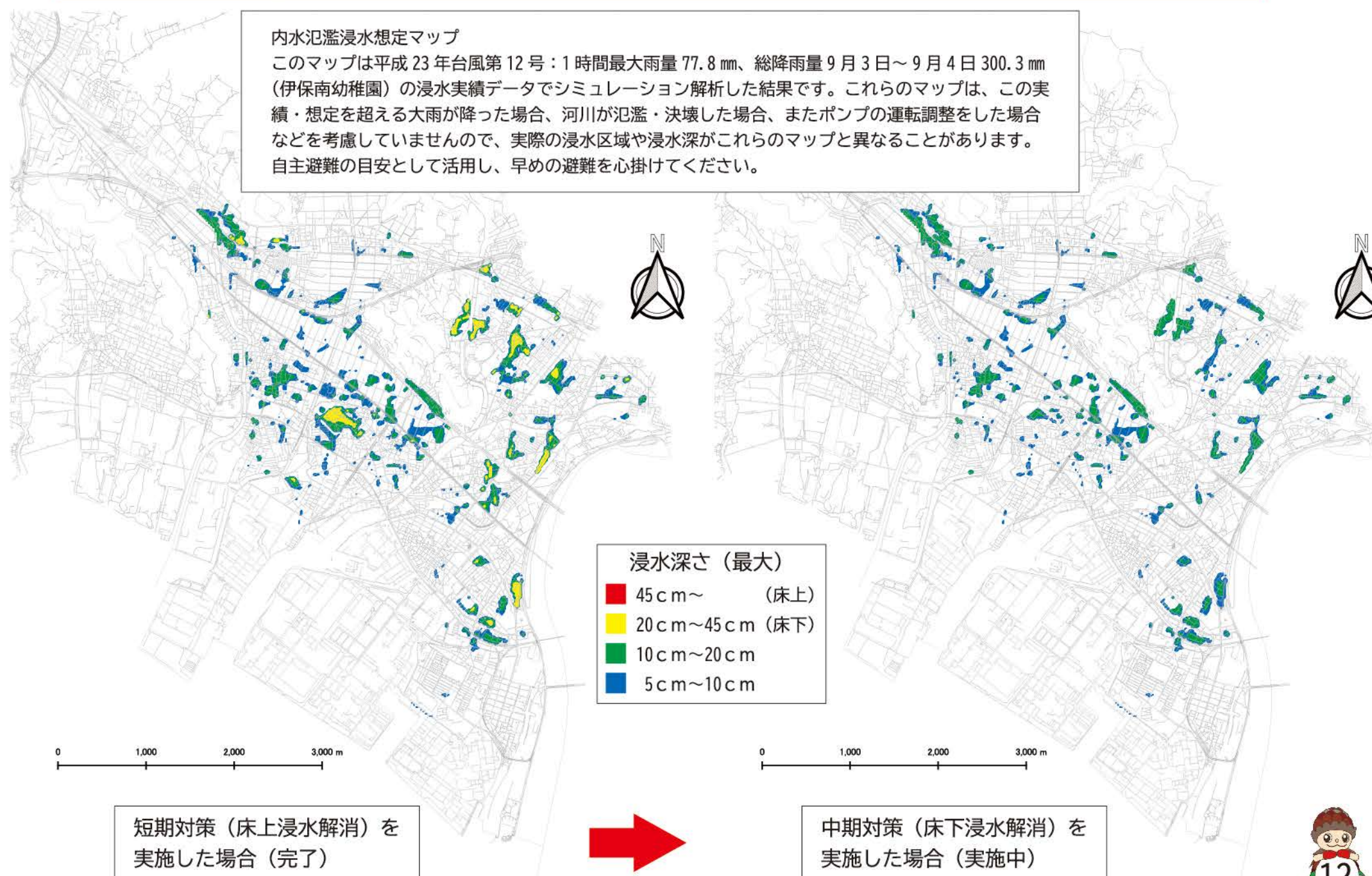
半壊	1 棟
床上	625 棟
床下	2,902 棟
店舗等	388 棟
合計	3,916 棟

●平成23年台風第12号は、8月25日にマリアナ諸島付近で発生した大型の台風で、発生後、徐々に発達しながらゆっくりと北上し、強い勢力を保ったまま9月3日に高知県北部に上陸。その後も速度を速めることなく、四国地方、中国地方を縦断し、4日未明に日本海へと抜けましたが、大型で動きが遅かったために、長時間台風周辺に非常に湿った空気が流れ込み、西日本から北日本にかけて、広い範囲で記録的な大雨となり、1時間雨量としてアメダス観測史上1位を更新しました。大雨による住家浸水、土砂災害、河川氾濫等により、全国各地で甚大な被害をもたらしました。高砂市においては、4日0時から1時の間に50mm程度、1時から2時までの間に80mm前後の大雨に見舞われたことに加え、満潮と重なり、潮位が高くなったために、内水排除施設の限界を超え、多くの被害をもたらしました。

内水氾濫浸水想定マップ

内水氾濫浸水想定マップ

このマップは平成23年台風第12号：1時間最大雨量77.8mm、総降雨量9月3日～9月4日300.3mm（伊保南幼稚園）の浸水実績データでシミュレーション解析した結果です。これらのマップは、この実績・想定を超える大雨が降った場合、河川が氾濫・決壊した場合、またポンプの運転調整をした場合などを考慮していませんので、実際の浸水区域や浸水深がこれらのマップと異なることがあります。自主避難の目安として活用し、早めの避難を心掛けてください。



浸水深さ（最大）

- 45cm～ (床上)
- 20cm～45cm (床下)
- 10cm～20cm
- 5cm～10cm

短期対策（床上浸水解消）を実施した場合（完了）

中期対策（床下浸水解消）を実施した場合（実施中）

